



みどりの風



令和8年3月24日発行

「愛」そして「優輝」

校長 塩津 一弘

先日、第79回卒業式を多くの御来賓、保護者の皆様の御参加のもと実施しました。その際の「式辞」です。これまで、重富中学校を支えてきた、かわいい卒業生へ私の思い、「愛」と「優輝(優しく輝け)」に込めてメッセージを送ることでした。重富中学校を巣立つ卒業生の活躍を祈念するとともに、残された在校生及び職員一同、さらなる重富中学校の発展に尽力したいと思います。

「式 辞」

花のたよりが聞こえるこのよき日に、湯元市長さんはじめ多数の御来賓及び保護者の皆様の御臨席を賜り、第79回卒業式を盛大に挙げていきますことを心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

今、一人一人が卒業証書を受け取り中学校生活の思い出、重みを感じていることと思います。この感激を大切に、これまであたたかく見守り、支えてくださった御両親や御家族への深い感謝の思いを、大切にしてください。

さて、皆さんへ始業式で「中学校生活の中で何か一つ、自分が熱中できるもの、夢中になれるものを見つけてほしい。」とメッセージを伝えてからともに歩んだこの一年、あっという間でした。

「ガーベラ 優しさあふれる重富中」のスローガンのもと生徒会活動をはじめ合唱コンクール、体育大会、文化祭等、学校行事における活躍は素晴らしく何事にもメリハリを付け、一生懸命取り組む姿は素晴らしいものでした。皆さんのその姿、その頑張り、それぞれの人生の財産、そして強い絆となっていることと思います。さらにはその姿をみてきた後輩の在校生が伝統を引き継いでいることも嬉しく思います。本当にありがとうございました。

保護者の皆様、お子様の中学校御卒業、誠におめでとうございます。皆様方にはPTA活動をはじめ、様々な場面で多大なる御協力を賜りました。本当にありがとうございます。

子どもたちは、義務教育を終了し次のステージへと進みます。これから、この郷土、重富、始良を愛し、発展させてくれると期待してやまない子どもたちとともに最高の応援団として支えていきましょう。

ここからは、私のことばで卒業生の皆さんへ次のことばを贈りたいと思います。まずは、「愛」。どんなに社会が変わろうとも私たちが生きていく上で大切にしなければならないものが「愛」と私は思っています。時代はアナログからデジタルへと転換し、コミュニケーション手段も大きく変わってきました。加えてAIの進化もめざましいものがあります。このような中、人と人が社会をつくっていく上で、直接「愛」を伝える、「愛」を受けとめる、「愛」をふりまく、このことが大切であると私は考えます。



私も、皆さんへは、1年間ですが「愛」を伝え、注いできました。それは、私だけではありません。みんなの左側にいる先生方。いつも寄り添い、真摯に対応してくれましたね。優しさも「愛」、厳しさも「愛」、それらをすべて皆さんは感じていると思います。

さらには、右側にいるいつもあたたかく見守ってくださった小学校の先生方、地域の方々、こんなにも多くの方々から各段の愛情を頂いてきました。

そして、皆さんの後方にいるかわいい後輩の在校生も「愛」を育んでくれました。何よりもその後方にいる、皆さんが生まれてきてからこれまで、元気な時も病気の時もどんな時も支えてくれたお母さん、お父さん。家族の方々。愛情いっぱいみんなを育ててきてくれたことは、十分すぎるぐらいわかっていると思います。この「愛」を大切にしてください。それともう一つ贈ることば「優輝」、私の思いを漢字二文字で表した言葉です。「優しく」「輝いてほしい」これは、生徒会スローガンの「優しさあふれる」ということばから「優」をそして、その「優しさ」を大切に輝いて欲しい。さらには、周りの人を輝かせられるような人にもなって欲しい。そんな、皆さんでいて欲しいこのことばを贈ります。

「愛」と「優輝」、これからも、まずは自分を愛し、そして家族を愛し、周りの人を愛し、多くの方々を愛し、おおいに羽ばたき、さらには、この生まれ育った重富を愛し、優しさを持って輝き みんなを輝かせ、幸せにしてくれる、そんな皆さんでいてください。

「重中 最高!!」のことばどおり最高の重富中学校を築き上げた皆さんを重富中学校職員一同、いつまでも応援し続けます。名残惜しいですが、皆さんの益々の御活躍を祈念し、式辞といたします。